

PO21R072

2009年10月23日

目の錯覚を体感する光のアート

『Blank Space』 11月7日から開催

ポーラ ミュージアム アネックス（中央区銀座1丁目）では2009年11月7日（土）～11月29日（日）の会期で、「Blank Space（ブランク スペース）」展を開催します。

本展は、130,000個のLEDを使って構成されるポーラ銀座ビルのファサードの設計を手がけたライティング・アーキテクトの豊久将三氏による、光のインスタレーション作品をご紹介します。

人が光を認識するとはどういうことか？ その原点をみつめ、人の眼と脳の根源的な関係性を問い直す画期的な企画です。

ファサード（ビル表面）から発せられる光を意識しながら、ギャラリー内に3つの異なる光のアートを展開します。

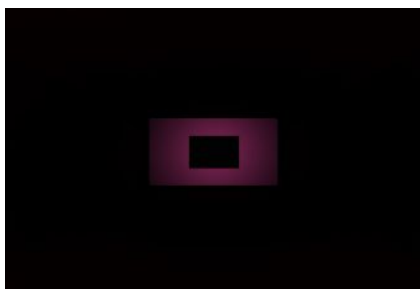
《作家プロフィール》

豊久 将三（とよひさ・しょうぞう） ライティング・アーキテクト。

1960年生まれ。主に美術・博物館の光の計画を制作とともに行う。ニューヨーク近代美術館での「CONTEMPORARY JAPANESE TEXTILES」展における光ファイバーを使用した照明で世界的な評価を得る。

現在までに、セントルイス美術館、モントリオール現代美術館、森美術館、ポーラ美術館、原美術館、ハラミュージアムアーク観海庵、根津美術館、三菱一号館美術館などの展示照明とともに、ニューヨークを中心に個人コレクターの自邸の照明も数多く手がける。

収蔵作品や美術館建築の空間に合わせて、毎回、オリジナルの光を創る事が一貫したコンセプトとなっている。



展示予定作品（イメージ）



ポーラ銀座ビル ファサード
(LED点灯時)

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室 TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【お客さまからのお問い合わせ先】

TEL 03-3563-5501

《展覧会の概要》

- 【展覧会名】 Blank Space (ブランク スペース)
【作品点数】 3点
【会 期】 2009年11月7日(土)～11月29日(日) ※会期中無休
【会 場】 ポーラ ミュージアム アネックス
〒104-006 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階
【アクセス】 東京メトロ 銀座駅 A9番出口徒歩6分
東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ
JR有楽町駅 京橋口改札徒歩5分
【連絡先】 電話番号：03-3563-5501
【開館時間】 11:00～20:00
【入 場 料】 無料

ヒトの眼の網膜には、2種類の視細胞がほぼ一面に並んでいる。このうち桿体細胞^{かんたい}は、感度は高いが色の判別はできない。一方の錐体細胞^{すいたい}は、感度は低いが色の判別ができる。

錐体細胞にはさらに、青、赤、緑、それぞれの色の光を受容する3種類の細胞がある。それぞれは、”青色光を受容する錐体細胞”・”赤色光を受容する錐体細胞”・”緑色光を受容する錐体細胞”である。

光の色に関して考えると、白色光は様々な色(青・赤・緑)の光が混ざったものであるため、”白”を見るためには3種類の錐体細胞の全てが反応しなければならない。

ところが、この錐体細胞からの指令が脳に伝わる段階で、錯覚が起こる事がある。例えば、”赤”をしばらく見つめていると、赤色光を受容する錐体細胞だけが反応し続けて疲労してしまうため、赤を見続けた後すぐに”白”を見ると、他の2つの錐体細胞だけが反応して、”赤”の補色の”青緑”に見えることとなる。

これを錯覚とするか現実とするか、作品を体感し脳に問いかけていただきたい。

豊久 将三



「Light on Canvas II」 展示作品
ポーラ ミュージアム アネックス 2007年12月

「colors on colors」
杉並公会堂 光のアートワーク
2006年